

盛岡市の中学校給食の格差是正を求める決議

「学校給食が児童及び生徒の心身の健全な発達に資するものであり、かつ、児童及び生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たすものであることにかんがみ、学校給食及び学校給食を活用した食に関する指導の実施に関し必要な事項を定め、もって学校給食の普及充実及び学校における食育の推進を図ることを目的とする。」学校給食法では、その重要性についてこのようにうたわれているように、学校給食は、育ち盛りと言われる中学生にとって、さらには、子を持つ親にとって重要な役割を果たしている。

現在、盛岡市内の中学校では、主食・おかず・牛乳の全てを提供する完全給食、選択制給食、ミルク給食に分かれているが、平成 20 年度の黒石野中学校を皮切りに導入された選択制給食は、喫食率の伸び悩みと、調理業務を受託する業者が 1 者のみという理由から、平成 29 年度に実施を予定していた北陵中学校を初め、仙北中学校、大宮中学校の導入計画が滞っている現状である。

平成 28 年度に文部科学省が行った「学校給食実施状況等調査」によると、全国における中学校の完全給食率は 83.7%であり、ミルク給食を実施しているのはわずか 4.8%となっている。市内 23 校ある中学校のうち、9 校が完全給食、11 校が選択制給食、選択制給食の実施を待つ 3 校はミルク給食という格差が生じており、盛岡市の中学校給食に少なからず疑問を持っている保護者がいることも事実である。

共働き世帯・ひとり親世帯の増加など、昨今の社会情勢の変化や就労形態の多様化などさまざまな要因により、中学生を取り巻く生活環境も大きく変化している。食育の重視、子どもの貧困対策などが叫ばれている中、さらには受益の公平性の観点からも、盛岡市に暮らす中学生全てに栄養バランスのとれた完全給食を提供すべきと考える。

以上のことから、市議会として、次の事項について強く要望するものである。

記

- 1 盛岡市立中学校の給食における格差を解消すること。
- 2 盛岡市立中学校の選択制給食を見直し、主食・副食・牛乳の完全給食実施に向けて検討を開始すること。

以上、決議します。

平成 30 年 6 月 27 日

盛岡市議会